

中国・アジアダイジェスト

2019.02.11-03.08

*記事は東京発行・最終版

CHINA

2月11日(月) □

中国プラ成形—沖縄に移管 タイガー産業が新工場

タイガー産業は、沖縄県の本社近くに建築資材工場を新設、プラスチック成形品を中国の自社工場から移す。中国の射出・押出成形に加え、本社工場の金属製品ラインも集約。(21面)

2月15日(金) □

トヨタ、中国に開発拠点 北京・上海/AI・自動運転

トヨタ自動車は、北京と上海にAIや自動運転の研究開発拠点を設置する。米国・日本と並ぶ中核拠点に。中国はAI人材の育成や、自動運転特区の設置を積極的に進めている。(1面)

2月18日(月) □

海航集団、スイス社売却検討 保有株価値10億ル

中国複合企業・海航集団(HNAグループ)が、航空機整備・スイスSRテクニクスをめぐり、売却を含めた選択肢を検討。SRテクニクス株80%の価値は7億~10億ル。(7面)

2月20日(水) □

広東省・香港・マカオで新経済圏 ベイエリア計画

中国は、広東省と香港、マカオで一体的な経済圏をつくる「粤港澳大湾区(えつこうおう)ベイエリア」の基本計画。各地域の強みを生かしながら、経済成長の新たなけん引役に。(時事=4面)

2月21日(木) □

中国人訪日客、伸び回復 1月19%増/75万4400人

1月の中国からの訪日客は75万4400人と前年同月比19%増加した。6カ月ぶりに2ケタの伸び。訪日客は全体で7.5%増の268万9400人。中国・台湾・米国・豪州の伸びが目立った。(2面)

2月22日(金) □

「されど中国」重要市場 米中摩擦/経済減速

米中摩擦と中国経済の減速中国市場は楽観できない。だが、中長期的には魅力的な巨大市場に変わりはない。日本企業は「されど中国」とばかり、将来を見据え市場開拓を続ける。(1面)

2月25日(月) □

中国減速、下方修正25% 日刊工業新聞まとめ/通期見通し

日刊工業新聞社が、主要128社の2019年3月期決算見通しをまとめた。下方修正は25%に当たる32社。米中貿易摩擦と中国経済の減速で事業環境悪化が続く。上方修正は14%の18社。(1面)

2月26日(火) □

内憂外患、難題に挑む 中国全人代5日開幕

中国の第13期全国人民代表大会が、5日開幕する。国内経済減速や米国との貿易協議など「内憂外患」に陥る中、どう乗り越えるかが焦点。米中首脳会談にも影響しそうだ。(1面)

2月27日(水) □

米中一追加関税の撤回検討 首脳会談、米で27日前後

米中両国が、貿易協議で合意に至れば昨年発動した制裁・報復関税の一部撤回を検討していると米紙WSJが報じた。首脳会談は27日前後に、米国内で開催する方向。(時事=2面)

2月28日(木) □

日立、中国5社を統合 IoT/デジタル

日立製作所は、グループでSIなど中国企業5社を統合する。IoTの知見・ノウハウを融合、デジタルソリューション開発を効率化。中国の社会や企業の課題解決を支援する。(9面)

3月5日(火) □

ファウウェイ、米を提訴 自社製品禁止の解除求める

中国通信機器ファウウェイは、米政府省庁における自社製品の使用を禁止されたことについて、米に禁止の解除を求める訴訟を起こした。米中貿易協議の合意に水を差す可能性。(1面)

3月6日(水) □

中国、6.0-6.5%に引き下げ 国内減速・対米貿易摩擦

中国は、全人代で2019年の実質GDP成長目標を2年ぶりの引き下げとなる6.0-6.5%とした。国内経済減速や米国との貿易摩擦などで「緩やかな成長」にシフトチェンジ。(1面)

シチズン時計は、タイで「子ども支援プロジェクト」。創業100周年記念事業の一環。日本のことを英語で伝える異文化理解の授業や、腕時計の製作でモノづくりの楽しさを出前授業(2月19日付)



海航集団、スイス社売却検討 保有株価値10億ル

中国複合企業・海航集団(HNAグループ)が、航空機整備・スイスSRテクニクスをめぐり、売却を含めた選択肢を検討。SRテクニクス株80%の価値は7億~10億ル。(7面)

2月20日(水) □

広東省・香港・マカオで新経済圏 ベイエリア計画

中国は、広東省と香港、マカオで一体的な経済圏をつくる「粤港澳大湾区(えつこうおう)ベイエリア」の基本計画。各地域の強みを生かしながら、経済成長の新たなけん引役に。(時事=4面)

2月21日(木) □

中国人訪日客、伸び回復 1月19%増/75万4400人

1月の中国からの訪日客は75万4400人と前年同月比19%増加した。6カ月ぶりに2ケタの伸び。訪日客は全体で7.5%増の268万9400人。中国・台湾・米国・豪州の伸びが目立った。(2面)

2月22日(金) □

「されど中国」重要市場 米中摩擦/経済減速

米中摩擦と中国経済の減速中国市場は楽観できない。だが、中長期的には魅力的な巨大市場に変わりはない。日本企業は「されど中国」とばかり、将来を見据え市場開拓を続ける。(1面)

2月25日(月) □

中国減速、下方修正25% 日刊工業新聞まとめ/通期見通し

日刊工業新聞社が、主要128社の2019年3月期決算見通しをまとめた。下方修正は25%に当たる32社。米中貿易摩擦と中国経済の減速で事業環境悪化が続く。上方修正は14%の18社。(1面)

2月26日(火) □

内憂外患、難題に挑む 中国全人代5日開幕

中国の第13期全国人民代表大会が、5日開幕する。国内経済減速や米国との貿易協議など「内憂外患」に陥る中、どう乗り越えるかが焦点。米中首脳会談にも影響しそうだ。(1面)

2月27日(水) □

米中一追加関税の撤回検討 首脳会談、米で27日前後

米中両国が、貿易協議で合意に至れば昨年発動した制裁・報復関税の一部撤回を検討していると米紙WSJが報じた。首脳会談は27日前後に、米国内で開催する方向。(時事=2面)

2月28日(木) □

日立、中国5社を統合 IoT/デジタル

日立製作所は、グループでSIなど中国企業5社を統合する。IoTの知見・ノウハウを融合、デジタルソリューション開発を効率化。中国の社会や企業の課題解決を支援する。(9面)

3月5日(火) □

ファウウェイ、米を提訴 自社製品禁止の解除求める

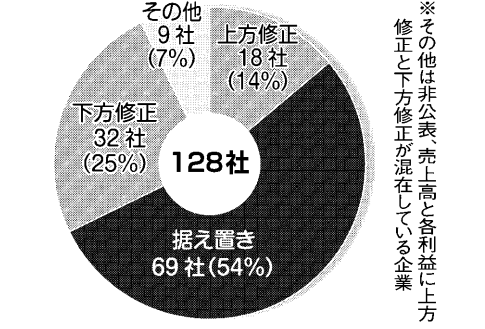
中国通信機器ファウウェイは、米政府省庁における自社製品の使用を禁止されたことについて、米に禁止の解除を求める訴訟を起こした。米中貿易協議の合意に水を差す可能性。(1面)

3月6日(水) □

中国、6.0-6.5%に引き下げ 国内減速・対米貿易摩擦

中国は、全人代で2019年の実質GDP成長目標を2年ぶりの引き下げとなる6.0-6.5%とした。国内経済減速や米国との貿易摩擦などで「緩やかな成長」にシフトチェンジ。(1面)

主要上場128社の19年3月期見通し



2月26日(火) □

米中貿易協議を延長 米大統領/閣僚級協議で成果

トランプ米大統領は、3月1日までとしていた米中貿易協議の期限の延期を表明した。閣僚級協議の成果を踏まえ決めた。月内に開く米中首脳会談で決着すべく交渉を加速する。(1面)

2月27日(水) □

楽天、ドローン配送で連携 京東集団/山間部など

楽天は、中国EC大手・京東集団とドローン物流で連携する。楽天の物流網と京東集団のドローンや配送ロボットを組み合わせる。山間部など過疎地域から始める。(13面)

2月27日(水) □

車内ジェスチャー操作で提携 中国バイトン/独pmd

中国バイトンと独pmdテクノロジーが提携した。バイトンのディスプレイを動作させる車内ジェスチャーコントロール・カメラ・システムにpmdのセンサーを搭載する。(7面)

2月28日(木) □

藤倉ゴム、中国新工場中止 環境規制、地方にも広がる

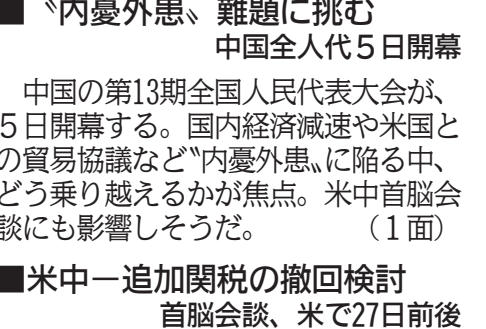
藤倉ゴム工業は、浙江省の新工場建設を中止する。環境規制が地方にも広がり、同地区での生産が困難になった。自動車部品などの増産を進める。既存工場をル移動、中国を再編。(1面)

2月28日(木) □

中国モビリティ市場研究会 日本総研/あり方構想

日本総合研究所は、中国モビリティサービスの市場研究会を設立した。EV導入やコネクテッド、自動化で先行する中国動向を分析、2020年代後半のあり方を構想する。(6面)

中国の実質成長率



3月5日(火) □

内憂外患、難題に挑む 中国全人代5日開幕

中国の第13期全国人民代表大会が、5日開幕する。国内経済減速や米国との貿易協議など「内憂外患」に陥る中、どう乗り越えるかが焦点。米中首脳会談にも影響しそうだ。(1面)

3月5日(火) □

米中一追加関税の撤回検討 首脳会談、米で27日前後

米中両国が、貿易協議で合意に至れば昨年発動した制裁・報復関税の一部撤回を検討していると米紙WSJが報じた。首脳会談は27日前後に、米国内で開催する方向。(時事=2面)

3月6日(水) □

ファウウェイ、米を提訴 自社製品禁止の解除求める

中国通信機器ファウウェイは、米政府省庁における自社製品の使用を禁止されたことについて、米に禁止の解除を求める訴訟を起こした。米中貿易協議の合意に水を差す可能性。(1面)

3月6日(水) □

中国、6.0-6.5%に引き下げ 国内減速・対米貿易摩擦

中国は、全人代で2019年の実質GDP成長目標を2年ぶりの引き下げとなる6.0-6.5%とした。国内経済減速や米国との貿易摩擦などで「緩やかな成長」にシフトチェンジ。(1面)

3月6日(水) □

東プレ、中国増産 武漢に新工場/仏山は設備増強

東プレは、中国での生産体制を拡充する。仏山工場に熱間プレス(ホットスタンプ)設備を増強する。武漢に新工場を建設する。電動化などもあり需要は底堅いとみる。(6面)

「中国・アジアダイジェスト」面
次回は4月8日に掲載します。

自動車向け長繊維GFPP生産 三井化学/1万500ト

三井化学は、広東省で自動車向けガラス繊維強化ポリプロピレンの生産を2020年に始める。既存工場には新製造設備。年産能力は、全体で50%増の1万500トに拡大する。(13面)

3月8日(金) □

ファウウェイ、米を提訴 自社製品禁止の解除求める

中国通信機器ファウウェイは、米政府省庁における自社製品の使用を禁止されたことについて、米に禁止の解除を求める訴訟を起こした。米中貿易協議の合意に水を差す可能性。(1面)

3月8日(金) □

ルネサス、工場2カ月停止 中国の減速鮮明に

中国の景気減速の影響が鮮明になってきた。ルネサスエレクトロニクスは工作機械や家電向けの半導体出荷が落ち込み、国内9工場の操業を最大2カ月間停止する。(11面)



ルネサスは操業停止期間を延ばし在庫を調整する(那珂工場)

上海でオフィスビルのリノベ 三井物産(15日16面)

セメント粉砕機、最大級引き渡し 川重(20日8面)

三菱日立PS、18万kW級受注 高炉ガス焚き発電設備(21日9面)

香港一地下島、週3便就航 香港LCC(22日22面)

三菱重工サーマル、中国合弁 空調機/施工・エンジニア(25日13面)

みずほ銀行、上海虹橋出張所 上海3拠点目(7日19面)

中国で健康的な住環境研究 パナソニック(7日3面)

ASIA

2月13日(水) □

エアアジアXの業務受注 スイスポートジャパン

スイスポートジャパンは、福岡空港に就航するエアアジアXの旅客・ランブ業務を新規受注した。同空港での受注は2路線。クアラランプーール福岡を週4便運航する。(16面)



福岡空港のランブ(スイスポートジャパン)

2月14日(木) □

トヨタ、タイに新工場 三菱商事/持ち分法適用会社

トヨタ自動車は、三菱商事を引受先とする第三者割当を完了。トヨタ自動車は509億円を調達。日本、マレーシア、米国のタイヤ工場の増強や欧州新工場建設に。(7面)

2月15日(金) □

三洋化成、タイに新棟 帯電防止剤/年3200ト

三洋化成工業は、タイ工場に高分子量型の永久帯電防止剤を生産する新棟を建てる。年産能力1500ト。国内設備は年3200トでフル生産状態。総生産能力は約5割高まる。(15面)

2月18日(月) □

島津、韓国合弁を解消 100%出資に/分析計測機器

島津製作所は、40%出資だった韓国合弁販売会社D I Sを、島津グループの100%出資に切り替えた。購入額は非公表。韓国での分析計測機器販売事業の経営判断を迅速に。(7面)

2月19日(火) □

シチズン、タイで出前授業 腕時計製作/異文化理解

シチズン時計は、タイで「子ども支援プロジェクト」。100周年第7プロジェクト。英語で日本のことを伝える授業や、腕時計製作でモノづくりの楽しさを学ぶ時計工作教室。(7面)

2月20日(水) □

川重、インド新工場 油圧機器/年2万台

川崎重工業は、インド・ベンガルール市の新工場を4月に稼働させる。7-36トの油圧ショベル用の油圧ポンプやモーターを生産。建設機械各社に供給。年産2万台。(7面)

2月20日(水) □

コマツ、アジアで工事支援 ドローン測量/大容量データ処理

コマツは、アジアでICTを活用した工事支援。ドローンによる測量や大容量の工事データの処理システムをシンガポールで実証。労働力不足の建設現場で生産・安全性を高める。(8面)

2月21日(木) □

ハイウイン、直動機器2倍 神戸増産/倉庫拡張

台湾ハイウインは、日本で直動製品の供給体制を拡充する。神戸市の拠点に加工設備を導入して生産能力を2倍に拡大。在庫を管理する倉庫も2倍に拡張し、人員も増員した。(9面)

2月21日(木) □

「dフォト」台湾にOEM 契約717万人/CTCなど

伊藤忠テクノソリューションズ(CTC)は、NTTドコモなどと、台湾FETにドコモのフォトブックサービス「dフォト」をFET(契約者717万人)にOEM提供する。(11面)

2月22日(金) □

ベトナムでWi-Fi NTT東日本

NTT東日本は、ベトナムで法人向けサポート付き「ギガらくWi-Fi」を商用化する。ピンズオン省のスマートシティ計画の一環。各地の工業団地への展開も見込む。(1面)

2月22日(金) □

病理診断・検査、東南ア開拓 サクラファインテック

サクラファインテックは、東南アジアでがんなどの病理診断・検査を開拓する。マレーシアに事務所を開設する。標準作製機器や試薬の販売、カスタマーサービスをサポート。(15面)

2月22日(金) □

TOTO、インドにショールーム デザイナー向け技術展示

TOTOは、インド・デリーに初めて直営のショールームを開設した。一般顧客向けのショールーム機能とデザイナーや設計士向けの技術展示を融合した。(19面)

2月22日(金) □

地下変電所、バングラで受注 東電PG

東京電力パワーグリッドと東電設計は、バングラデシュの送電会社であるダック電力供給から地下変電所建設プロジェクトのコンサルティング業務を共同受注した。(4面)

2月25日(月) □

藤倉ゴム、ベトナム増強 工業用/一貫ライン

藤倉ゴム工業は、ベトナムの生産体制を再編する。工業用ゴム製品の増産で、一貫生産ラインを構築する。日本で手がけていたゴム製品の混練工程を

2月26日(火) □

共同印刷、インドネシア新工場 歯磨き粉/化粧品/チューブ

共同印刷は、インドネシア・ジャカルタに歯磨き粉や基礎化粧品の容器となるチューブを生産する新工場を着工する。ベトナムに新設する検討。日本製品の品質への信頼が厚い。(1面)

2月27日(水) □

ホンダ、台湾に144億円投資 SUV、「フィット」「シティ」

ホンダは、台湾・屏東県の乗用車工場に5年で計40億台湾ドル(約144億円)を投資、最新設備を導入する。年産能力は3万台で変わらない。SUVや「フィット」「シティ」を生産。(3面)

2月27日(水) □

泳ぐ宝石 アジア富裕層に人気 8割外国人/1匹2億円

「泳ぐ宝石」と呼ばれる高級観賞魚のニシキゴイが、中国などアジアの富裕層に人気だ。購入者の約8割が外国人。1匹2億円の高値で競り落とされる例も。(4面)

2月27日(水) □

排ガス触媒、インドネシア2倍 キャタラー/チェコに工場

キャタラーは、世界的な排ガス規制強化に対応し、海外で自動車用排ガス触媒を増産する。インドネシアの能力を約2倍に。初の欧州拠点としてチェコで工場を稼働する。(7面)

2月28日(木) □

タイ語の文書、AIで分類 日立/感性分析エンジン

日立製作所は、タイ国立プリンス・オブ・ソクラー大学と連携。タイ語の感性分析エンジンを開発。AIを活用、タイ語の文書をポジティブ、ネガティブ、ニュートラルに分類。(13面)

3月1日(金) □

米朝首脳一合意に至らず 非核化・制裁解除で溝

米朝首脳は、ベトナム・ハノイでの2日間の会談を終えた。非核化と北朝鮮への制裁解除に関して両首脳の見解が対立し、合意に至らなかった。今後の非核化の行方は不透明。(1面)

3月1日(金) □

井関、印TAFEに技術供与 中型トラクター現地生産

井関農機は、インド農業機械大手TAFEを戦略的に活用する。技術供与して中型トラクターを現地生産。中型トラクターの一部をアジアに販売。TAFE製部品を日本へ輸入。(10面)

3月5日(火) □

タイ、TPPに参加表明 日系の生産拠点数多く

タイのソムキット副首相は「日本が主導しているTPP11に、タイも24日の選挙の後、参加表明する予定」と述べた。自動車や電機など日系企業の生産拠点が数多く立地。(時事=2面)

3月6日(水) □

機械要素部品、品ぞろえ拡充 台湾ハイウイン

台湾ハイウインは、日本で機械要素部品の品ぞろえを拡充する。波動歯車減速機、トルクモーターやボールネジなどを組み合わせた駆動システムなどを相次ぎ投入する。(9面)

3月7日(木) □

NTT、ベトナムにDC 外資系・省庁向け

NTTは、ベトナム南部のピンズオン省にデータセンターを2020年度をめどに開設する検討。国際標準の高品質なDCを国内外での運営実績を生かし

外資系企業や省庁機関に狙い。(10面)

テルモ、ベトナムに新棟 生産能力2倍

テルモは、ベトナム工場に3期棟として新棟を建設する。カテーテル関連製品を生産。生産能力は約2倍に。アジア、欧州、南米に出荷。特に中国とインドは急速